

建第 513 号

平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

妙高市長 入村 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より当市の道路行政に対するご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号でご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

今後とも当市に対しまして、特段のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上。

今度の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

新潟県 妙高市

○現状 ・中越大地震や中越沖地震などの大災害を受けた新潟県は先般、発生した岩手・宮城・陸奥地震において道路の被害により中山間地域で多数の集落が孤立したことから、県土の7割以上が中山間地域である本県でも改めて道路の重要性を実感したところであります。 また、当市においては、いまだに一般国道及び幹線道路のネットワークが未 completionであり、生活道路である一般道路においても狭隘や行き止まり箇所もあり、財源不足により安全・安心な道路確保が図れていない路線も多く、さらに通学路として指定されている路線でも歩道が未整備のため、大型車が頻繁に通行する路肩を児童・生徒が、危険と隣合わせで通学しているなど、市民の「命と暮らしを守る道路」の整備にはほど遠い状況にあります。	○課題 ●危険箇所の早期改良促進(狭隘箇所、雪崩危険等) ●交通ネットワークの早期整備促進 ●安心・安全な道路網の早期整備促進
しかしながら、政府の閣議決定においては道路特定財源を平成21年度から一般財源化することとされ、当市においても財政が厳しい中、道路整備の必要性から道路予算に一般財源や借入金を充当している状況である。	●安心・安全な道路網整備のための安定した予算の確保

今度の道路行政についての意見・提案

②－1地域の現状と抱える課題

新潟県 妙高市

○現状 <高速道路> 地域の基幹道路である、上信越自動車道が信濃町インターチェンジから上越ジャンクションまでが暫定2車線となっており、交通事故や降雪期での円滑な通行に支障をきたしている。 <国道> 国道18号においては、冬期間に急勾配箇所での通行不能車による渋滞や、冬期観光シーズンやお盆など平面交差点を中心とした渋滞があり円滑な通行に支障をきたしている。 <県道> 県道においては、山間地域で雪崩危険箇所や幅員狭い箇所な通行危険箇所などがあり、災害時に孤立危険箇所になる恐れがあります。 また、平成26年度開業予定の北陸新幹線飯山駅からの利用者を当市に誘導するための国道292号の整備の進捗が進んでいない現状であります。 <市道> 市道の整備状況は平成17年度末で改良率54%、舗装率76%となっているが、道路幅員が狭く冬期間除雪できない道路や火災等の非常時に緊急車両が通行できない道路もある。また、橋梁の老朽化等に伴う損傷の確認や耐震化対策が必要となってきた。	○課題 ●上信越自動車道全線4車線化の早期実現 ●安全な通行の確保（対面交通解消、冬期間の安全交通確保） ●国道18号の全線4車線化の早期実現 ●冬期間の安全で快適な通行の確保（全線立体化、登坂車線の整備） ●危険箇所の早期改良促進（幅員狭い箇所、雪崩危険箇所） ●新幹線開通に向けた、国道292号の早期改良促進 ●危険箇所の早期改良促進（幅員狭い箇所、雪崩危険箇所） ●橋梁の老朽化に伴う長寿命化対策の促進
---	--

今度の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2地域の目指すべき将来像

新潟県 妙高市

自然環境と調和し、資源消費、環境問題への対応を図りながら、市民の生活水準の向上や生命と財産を守るため、社会情勢が変化したとしても、持続して発展できる都市の形成を目指して、先を見据えた理念と計画により、まちづくりを進めていく必要があります。

妙高山麓に広がる当市には、妙高山麓に広がる美しい自然や生活文化、歴史、産業など他の地域に誇れる資源が多く存在しています。これらの地域資源を有効に活用し、本物を求め、そして新しい価値を創造していくことで、真の豊かさを実感でき、市民が誇りと気概をもって暮らしていけるまちづくりが進められるものと考えています。

「人」と「自然」のつながりを大切にし、すべての生命を安心して育むことができる地域を創ること、「生命地域の創造」を基本理念とし、まちづくりに取り組む必要があると考えます。

この当市の基本理念「生命地域の創造」の実現のためには、地域資源を活かした観光・農業の活性化、企業誘致や既存企業の新規投資を働きかけるとともに、妙高らしい特色を活かした産業の立地など、交流と暮らしを支える基盤づくりが必要不可欠であります。

そのためには、大量輸送が可能で且つ、利用者（市民、観光客等）の利便性が向上する、基幹道路の整備（上信越自動車道4車線化、国道18号バイパス4車線化）が地域の発展に大変重要な影響を与えるものであり、一日も早い完成を望んでいるものであります。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・上信越自動車道の整備(須坂、上越間4車線化整備) ・国道18号 上新バイパス(上越子安～妙高市乙吉間の4車線化整備) ・国道18号 上新バイパス(妙高市乙吉交差点の立体化整備) ・県道杉野沢二俣線及び及び主要地方道妙高高原公園線の歩道整備	○期待する効果や評価等 ・対面交通解消による安全確保 ・観光客の利便性の向上 ・渋滞の解消 ・対面交通解消による安全確保 ・利用者(市民、観光客等)の利便性の向上 ・渋滞の解消 ・利用者(市民、観光客等)の利便性の向上 ・渋滞の解消 ・観光客の安全性・利便性の向上 ・歩道と周辺遊歩道と一体となった、観光歩道網の整備による、交流人口増 ・夏季合宿学生ランナーの安全確保	